

第2学年1組 学級活動指導案

指導者 谷澤 和美

1. 日時・場所 平成20年5月29日(木) 1時30分～ 2年1組教室

2. 議題名 「クラスしゅうかいでやることをきめよう」

3. 議題について

4月の当初は、初めてのクラス替えを経験して、「どんな友だちがいるのかな。」「どんなクラスかな。」と周りをうかがっているような様子が見られた。それから、約2カ月。クラスの目標を決めたり、係を決めたり、運動会を経験したりして、徐々にクラスへの所属感やクラス集団としての意識も出てきたところである。明るく、何事にも意欲的に取り組もうとする子どもたちである。

しかし、休み時間には、2、3人の少人数で過ごす子が多く、一人で折り紙をしている子、「何して遊ぼうかな。」と教師の傍へ寄ってくる子もいる。

そこで、クラスの目標の一つ「なかよしたのしいにここクラス」に近づくためにどんなことをしたらよいと思うか投げかけたところ、「クラスのみんなで楽しめることをしたい。」という意見が出て、クラスで集会を行うことになった。

「クラスのみんなで楽しみ、仲良くなるため」にどんなことをしたいか話し合う時間も大切にしたい。話し合い活動では、司会グループを輪番制で行い、全員に話し合いの流れを考え、リードする経験をさせたいと考えている。教師と一緒に、司会グループの仕事を行うことで安心感をもって話し合いに臨めるようにしたい。また、友だちの意見を素直に聞くこと、自分の考えを素直に表現することを大切に、集団決定をしていく経験を積み重ねることも大切にしたい。なるべく多数決ではなく、話し合い、納得して自分もみんなもよい集団決定ができるようにしていきたい。

話し合いや集会など、集団での活動を楽しみと感じられる体験を重ねていき、クラスをよりよい集団として高めていけたらと考えている。

4. 評価基準

活動への関心・意欲、問題の気付き	集団の一員としての思考・判断	自主的・実践的な活動・態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学級内の諸問題について気付いたり、関心を持ったりして、進んで解決を図ろうとしている。 ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理など、学級や学校の生活の充実と向上を目指し、友だちと協力して意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の一員としての自己の役割を自覚し、友だちと協力しながら、学級や学校生活上の諸問題などの解決の仕方、学級や学校生活の充実と向上の図り方について考え、判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや係、集会などの活動で自己の考えを表現し、他の児童の考えも生かしながら、進んで問題の解決を図ったり、役割を分担して活動したりする。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価()と支援()
朝の会	クラス集会をすることを知る。 (話し合いの議題を選ぶ。)	教師と一緒に会の計画を立てようとしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 集会ができる日にち、場所などを伝える。 みんなで話し合いながら会を計画することを伝える。
休み時間	司会グループを決める。 ・進行司会(1)・指名司会(1) ・黒板記録(2)・ノート記録(1) 話し合いの流れを確かめる。 (司会グループ)	話し合いに向けて進んで準備をしている。 (自主的・実践的な活動・態度) お互いの役割を確かめ合い、活動のイメージが持てるようにする。 教師とともに話し合いの進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断) 流れを確かめられるように、話し合いの場面を一緒にイメージしていく。
帰りの会	学級活動で話し合う内容をみんなに知らせる。 (司会グループ)	司会グループとしてみんなに話し合う内容を知らせようとしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 自分の意見を持ち、みんなが話し合いに参加できるように、考えてくよう伝える。

(2) 本時の活動

ねらい

一人一人が話し合い活動に参加し、クラスみんなが楽しめるような集会の内容を決める。

活動計画

児童の活動	評価()と支援()
1. はじめの言葉 2. 司会グループの紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の説明(教師) 5. めあての確認	司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (自主的・実践的な活動・態度) 進め方などでつまずいた時には、近くで助言する。
6. 話し合い 「クラスしゅうかいでやることをきめよう」	友だちの考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断) できるだけ自分たちで決定ができるように見守り、話し合いが行き詰まってしまった時には、助言する。
7. 決まったことの確認	
8. 振り返りタイム	今日の話合いのよかったところを考えられるようにする。
9. 先生の話	司会グループのがんばっていた点、友だちを意識した意見や態度などを見つけて賞賛する。
10. おわりの言葉	

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価()と支援()
朝の会	集会の係分担をする。	集会に必要な係を見つけようとしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 前回にあった係を参考にして考えられるようにする。 進んで係に入ろうとしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 希望の係にできるだけ入れるようにする。
休み時間	クラス集会の準備をする。 (各係で)	協力しながら活動している。 (自主的・実践的な活動・態度) イメージを広げて活動が工夫できるよう助言する
学級活動の時間	クラス集会を行う。	楽しく集会に参加しようとしている。 (活動への関心・意欲、問題の気付き) 集会のめあてを掲示し、意識できるようにする。 自分の係がしっかりできる。 (自主的・実践的な活動・態度) 個別にリハーサルをして、自分の活動内容を確認められるようにしておく。
帰りの会	ふりかえりカードを書く。	よかったところ、直したいところを互いに振り返っている。 (集団の一員としての思考・判断) 自分のやった係や友だちのよかったところなども書くよう投げかける。